

# 確かめプリント【中学校一年生】読むこと①

埼玉県学力学習状況調査



コナシ

年 組 番 名 前

次は、「日本の市町村」という資料集の巻末にある【奥付<sup>おくづけ</sup>】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【奥付】

## 日本の市町村

定価はカバーに表示してあります。

2003年4月10日 初版第1刷発行

著者 <sup>にしだ なつこ</sup>西田夏子

発行者 青木太郎

発行所 株式会社 太陽の本社

〒100 - 6543

東京都千代田区中央3 - 2 - 1

印刷 かすみ印刷

製本 タイガー製本

落丁・乱丁がありましたらお取り替えいたします。

本書を無断で複写・複製することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

レベル7

一 奥付の一般的な特徴を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 本に出てくる重要な語句などが一定の順序で並べられているので、必要な情報を簡単に見付けることができる。
- 2 著者が本を書いたきっかけやねらいなどが書かれているので、著者の伝えたいことを的確に捉えることができる。
- 3 本の構成や大まかな内容などが示されているので、必要な情報がどこにあるのか見当を付けることができる。
- 4 著者、発行年月日などが記されているので、誰がこの本を書き、いつ発行されたのかなどを知ることができる。

1の一

レベル9

二 この資料集を活用するときの留意点を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 この資料集を書いたのは青木太郎さんなので、内容に興味をもった場合は青木太郎さんの他の本も参考にする。
- 2 この資料集は発行から十年以上たつので、資料集の中の情報が自分の目的に合っているかどうか確かめる。
- 3 この資料集の内容が難しくて分からなかった場合は、発行所に依頼して別の本に取り替えてもらう。
- 4 この資料集は無断で複写・複製することが禁じられているので、引用する際には書名や著者名などを書かない。

1の二

# 確かめプリント【中学校一年生】読むこと②



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

年 組 番 名前

ほんとうは、三月にはまだ山の春は来ない。三月春分の日というのに、山の小屋のまわりには雪がいつぱいある。雪がほんとに消えるのは五月の中ほどである。つまり、それまで山々にかぶさっていた、氷のように冷たい空気が、五月頃になると、急に北の方へおし流されて、もう十分あたたかくなっている地面の中の熱と、日の光とが、にわかに働きだして、一日一刻も惜しいような山の春があらわれ、<sup>また</sup>又たちまちそれが夏にかわってゆくのである。東北の春のあわただしさは、リンゴ、梅、<sup>なつ</sup>梨、桜のような山の春の花の代表が、前後する暇もなく、一時にぱっと開いて、まるで童話劇の舞台にでもいるような気を起こさせる。これは四月末のことであって、三月にはまだその自然の花々は固い木の芽の中にねむっているのだが、雑誌の三月号といえは、もう誰でも春の話をするにきまっているし、<sup>①</sup>また事実、上野公園あたりの彼岸桜の蕾は毎年きまつてほころびはじめる。日本の国は南北に長いので、季節がこんなにずれていて、おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもえる。北の方ではラッセル車が出るというのに、南の方では桃の花が村々にのどかに咲く。

自然の季節に早いところとおそいところとはあっても、季節のおこないそのものは毎年規律ただしくやってきて、けっしてでたらめでない。ちゃんと地面の下に用意されていたものが、自分の順番を少しもまちがえずに働きはじめる。木の芽にしても、秋に木の葉の落ちる時、その落ちたあとにすぐ春の用意がいと生まれ、しずかに固く戸をとじて冬の間を待っている。まったく枯れたように見える木の枝などが、じっさいはその内部でかっぱつに生活がたのしくおこなわれ、来年の花をさかせるよろこびにみちているのである。あの枯れ枝の梢を冬の日に見あげると、何というその枝々のうれしげであることだろう。

さて、山の三月は雪でいつぱいだが、それでも、もう冬ではなくて春の一部にはちがいないので、雪は降っても又目立って解ける。零下一〇度程度の寒さはすくなくなり、屋根からは急にツララがさかんにぶらさがる。ツララは極寒の頃にはあまり出来ず、春さきになって大きなのが下がる。ツララは寒さのしるしでなくて、あたたかくなりはじめたというしるしである。ツララの画を見ると寒いように感じるが、山の人<sup>（注）</sup>がツララを見ると、おう、もう春だっちゃ、と思うのである。

(高村光太郎「山の春」による。)

(注1) ラッセル車＝除雪用の車両。

(注2) 春だっちゃ＝「春なんだ」の意味。

——線部①「おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもえる」というのは、どのようなことについて述べたものですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 東北の三月は雪も降るが、リンゴや梅、梨、桜のような春の花も一緒に咲きはじめるということ。
- 2 山の三月はまだ雪でいっぱいだが、桃の花だけは山の村々にも咲き誇り十分に楽しめるということ。
- 3 同じ日本の三月なのに、桜がほころぶところもあれば、雪が積もっているとあるということ。
- 4 雑誌の三月号では春の話を取り上げているけれど、実際は日本ではまだ花が咲いていないということ。

# 確かめプリント【中学校一年生】読むこと③

埼玉県立大学習指導課



年 組 番 名 前

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔ここまでのあらすじ〕 主人公の「おれ」は、数学の教師として東京から四国に来たが、初めての授業に戸惑ったり、興味の  
ない骨董(注1)こっとうを売り込まれたりする日々を過ごしていた。

ある日の晩大町おおまちと云う所を散歩して居たら郵便局の隣りに蕎麦そばとかいて、下に東京と注を加えた看板があった。おれは蕎麦が大好きである。東京に居った時でも蕎麦屋の前を通って薬味の香においをかぐと、どうしても暖簾のれんがぐりりたくなつた。今日までは数学と骨董で蕎麦を忘れて居たが、こうして看板を見ると素通りが出来なくなる。① ついでだから一杯食って行こうと思つて上がり込んだ。見ると看板ほどでもない。東京と断ことわる以上はもう少し奇麗きれいにしそうなものだが、東京を知らないのか、金がないのか、滅法めつぼうきたない。昼は色が変わつてお負まけに砂でざらざらして居る。壁は煤すすで真黒だ。天井はランプの油煙(注2)ゆえんで、燻すすぼつてるのみか、低くつて、思わぬ首を縮めるくらいだ。ただ麗々(注3)れいれいと蕎麦の名前をかい張り付けたねだん付けだけは全く新しい。何でも古いうちを買つて二、三日前から開業したに違いなかるう。ねだん付の第一号に天麩羅てんぷらとある。おい天麩羅を持つてこいと大きな声を出した。するとこの時まで隅の方に三人かたまつて、何かつるつる、ちゅうちゅう食つてた連中が、ひとしくおれの方を見た。② 部屋が暗いので、ちよつと気がつかなかったが顔を合せると、みんな学校の生徒である。先方で挨拶をしたから、おれも挨拶をした。その晩は久し振ぶりに蕎麦を食つたので、旨うまかつたから天麩羅を四杯平たいらげた。

翌日何の気もなく教場(注6)へはいると、黒板一杯ぐらゐな大きな字で、天麩羅先生とかいてある。おれの顔を見てみんなわあと笑つた。おれは馬鹿馬鹿しいから、天麩羅を食つちや可笑おかしいかと聞いた。すると生徒の一人が、しかし四杯(注7)は過ぎるぞな、もし、と云つた。四杯食おうが五杯食おうがおれの銭でおれが食うのに文句があるもんかと、さつさと講義を済(注8)まして控所(注9)ひかえじよへ帰つて来た。十分立つて次の教場へ出ると一つ天麩羅四杯也(注10)。但し笑う可べからず。と黒板にかいてある。さつきは別に腹も立たなかつたが今度は

癩しやくに障さむった。冗談も度を過こせばいたずらだ。焼餅やまもちの黒焦くろくげのようなもので誰も賞ほめ手てはない。

(夏目漱石「坊っちゃん」による。)

(注1) 骨董こつどう＝古い絵やつぼなどで値打ちのあるもの。

(注2) 減法げんぽう＝度をこしていること。

(注3) 油煙あぶらけ＝油が燃えるときに出る、黒い細かな粉。

(注4) 燻すすぼつてる＝煙で黒くなる。

(注5) 麗々れいれい＝派手で人目につくさま。

(注6) 教場きょうじょう＝教室。

(注7) 四杯よっぱいは過ぎるぞな、もし＝四杯は食べ過ぎではないですか。

(注8) 控所こうじょ＝職員室。

## レベル6

一 ―線部①「素通りが出来なくなる」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 看板の美しい文字にひかれたから。
- 2 探していた蕎麦屋を見つけたから。
- 3 店の暗く汚い様子が気になったから。
- 4 東京にいた頃から蕎麦が好物だから。

3の一

## レベル7

二 ―線部②「ひとしくおれの方を見た」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 ちらつと、おれの方を見た。
- 2 親しげに、おれの方を見た。
- 3 そろって、おれの方を見た。
- 4 熱心に、おれの方を見た。

3の二

【催し物案内】

## 催し物案内（6月）

講座番号・講座名	日時	内容	対象	申し込み
① ペーパークラフト	6/8（土） 10時～12時	クジラやペンギンなど海の仲間を紙で作ります。子どもに人気の催し物です。親子でも楽しめます。	小学生・中学生 ※ 保護者の参加も可	5/20（月）まで
② 夏の星座を知ろう	6/9（日） 第1回 10時～11時 第2回 14時～15時	プラネタリウムで夏の星座について学びます。七夕の伝説についても詳しく説明します。	どなたでも	不要
③ 料理教室	6/15（土） 13時～16時	冷たいスイーツ作りに挑戦します。材料代200円が必要です。エプロンをご用意ください。	小学生以上 ※ 4年生以下は保護者同伴	6/3（月）まで
④ 和太鼓教室	6/22（土） 10時～12時	地域に伝わる和太鼓の歴史と演奏の仕方を学びます。保存会の方に指導していただきます。	小学5年生～高校生	当日受付
⑤ ジャズダンス	6/29（土） 10時～12時	ジャズダンスの基礎的なステップを学びます。運動ができる服装で参加してください。	高校生以上	当日受付

【申し込み先】  
市民センター  
☎ 000-123-\*\*\*\*

次は、市民センターの【催し物案内】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

年 組 番 名 前

確かめプリント【中学校一年生】読むこと④

海軍省立学習支援センター



レベル7

一 「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 どのようなことをするのかを簡潔な表現で紹介している。
- 2 箇条書きを用いて申し込みの方法や期日を提示している。
- 3 読者に問いかけるような形で参加を呼びかけている。
- 4 参加者の感想を交えながら講座の魅力を伝えている。

4の一

レベル8

二 前日までに申し込みをしなくても中学生が参加できる講座を、講座番号①から⑤までの中から全て<sup>すべて</sup>選びなさい。

4の二

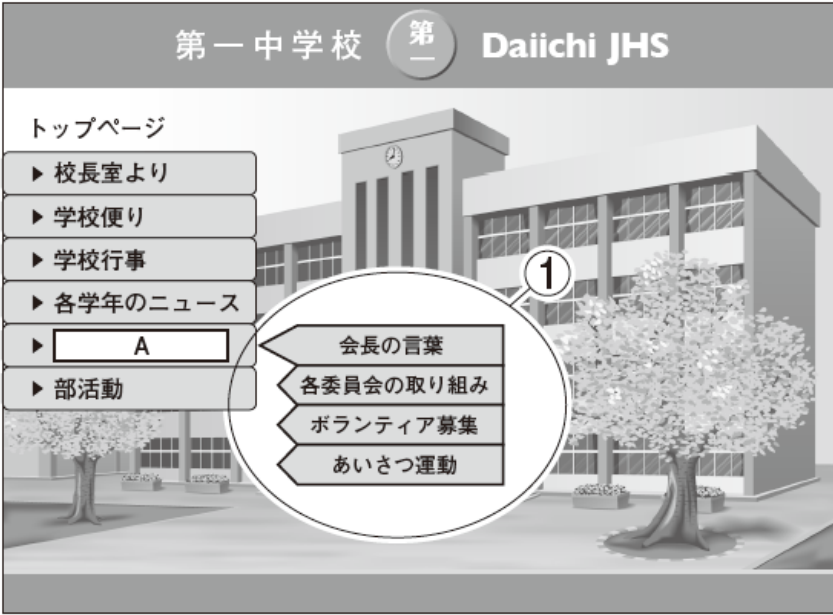


確かめプリント【中学校一年生】読むこと⑤

年 組 番 名 前

池田さんは、第一中学校のウェブページを作成しています。次は、その「ウェブページの一部」です。これを見て、あとの問いに答えなさい。

【ウェブページの一部】



一 【ウェブページの一部】の **A** の部分をクリックすると、①のような項目が現れるようにしたいと考えています。 **A** の項目名として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 年間の予定
- 2 授業の様子
- 3 本校までの案内
- 4 生徒会活動

**5**の一



## 「憧れの先輩に学ぶ！」

5月13日、サッカー部では、本校の卒業生、プロサッカー選手の青木太郎さんをお迎えして「サッカー講習会」を行いました。部長が、青木さんを先導し、グラウンドに登場しました。

【行事の記録】の一部



青木さんが、,  
グラウンドに登場しました。

【書き直した一文】

池田さんは、ウェブページに掲載するために【行事の記録】をまとめています。掲載するに当たって、——線部を「青木さんが」を主語にして一文で書き直そうと思います。の中に入るものとしてふさわしい内容を、意味を変えないように書きなさい。なお、「先導」という言葉はそのまま用いること。

# 確かめプリント【中学校一年生】読むこと⑥



年 組 番 名 前

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 「自分」は、眠って夢を見ている。夢の中にいる「自分」は、運慶の評判を聞き、運慶の仕事ぶりを見に行く。

運慶は見物人の評判には委細頓着なく鑿と槌を動かしている。いっこう振り向きもしない。高い所に乗って、仁王の顔の辺をしきりに彫り抜いて行く。

運慶は頭に小さい烏帽子のようなものに乗せて、素袍だか何だか別らない大きな袖を背中で括っている。その様子がいかにも古くさい。わいわい言ってる見物人とはまるで釣り合いがとれないようである。自分はどうして今時分まで運慶が生きているのかなと思つた。どうも不思議なことがあるものだと考えながら、やはり立って見ていた。

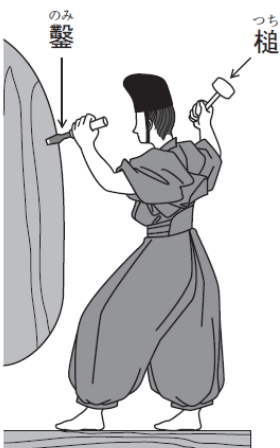
しかし運慶のほうでは不思議とも奇体とも感じ得ない様子で一生懸命に彫っている。仰向いてこの態度を眺めていた一人の若い男が、自分のほうを振り向いて、

「さすがは運慶だな。眼中に我々なしだ。天下の英雄はただ仁王と我とあるのみという態度だ。あっぱれだ」と言つて賞めだした。自分はこの言葉を面白いと思つた。それでちよつと若い男のほうを見ると、若い男は、すかさず、

「あの鑿と槌の使い方を見たまえ。大自在の妙境に達している」と言つた。

運慶は今太い眉を一寸の高さに横へ彫り抜いて、鑿の歯を返すや否や斜に、上から槌を打ち下ろした。堅い木を一刻みに削つて、厚い木屑が槌の声に応じて飛んだと思つたら、小鼻のおつ開いた怒り鼻の側面がたちまち浮き上がった。その刀

## 参考



の入れ方がいかにも無遠慮であった。そうして少しも疑念を挟んでおらんように見えた。

「よくああ無造作に鑿を使つて、思うような眉や鼻が出来るものだな」と自分はあんまり感心したから独り言のように言った。するとさっきの若い男が、

「なに、あれは眉や鼻を鑿で作るんじゃない。あのとおりの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違うはずはない」と言った。

自分はこの時はじめて彫刻とはそんなものかと思ひだした。はたしてそうなら誰にでも出来ることだと思ひだした。それで急に自分も仁王が彫つてみたくなつたから見物をやめてさっそく家へ帰つた。

道具箱から鑿と金槌を持ち出して、裏へ出てみると、せんだつての暴風で倒れた檜を、薪にするつもりで、木挽に挽かせた手頃なやつが、たくさん積んであつた。

自分は一番大きいのを選んで、勢いよく彫りはじめてみたが、不幸にして、仁王は見当らなかつた。その次のにも運悪く掘り当ることが出来なかつた。三番目のにも仁王はいなかつた。自分は積んである薪を片っ端から彫つてみたが、どれもこれも仁王を蔵しているのはなかつた。

(夏目漱石「夢十夜」による。)

(注1) 委細頓着なく||細かいことを気にしない。

(注2) 不思議とも奇体とも||不思議であるとも奇妙であるとも。

(注3) 大自在の妙境||少しの束縛もなく、自由な境地。

(注4) 豎に返すや否や斜に||縦に返すとすぐに斜めに。

(注5) 木挽に挽かせた||製材することを仕事にしている人に切らせた。

レベル8

一 次は、この文章に登場する人物について整理したものです。 ア から ウ に当てはまる人物の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

<input type="checkbox"/> ア	……見物している	<input type="checkbox"/> イ	から、「天下の英雄」とたたえられている。
<input type="checkbox"/> イ	……見物しながら、	<input type="checkbox"/> ア	の技術をほめたたえている。
<input type="checkbox"/> ウ	……見物しながら、	<input type="checkbox"/> イ	の話聞き、家に戻って木を彫りはじめる。

- 1 ア 運慶    イ 若い男    ウ 自分
- 2 ア 自分    イ 運慶    ウ 若い男
- 3 ア 運慶    イ 自分    ウ 若い男
- 4 ア 自分    イ 若い男    ウ 運慶

<input type="checkbox"/> 6の一

レベル9

二 — 線部「どれもこれも仁王を蔵かくしているのはなかった」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 木挽が隠した仁王を見付けられなかった。
- 2 木が堅くて鑿では仁王を掘り出せなかった。
- 3 薪が小さすぎて仁王が入っていなかった。
- 4 仁王を彫刻することはできなかった。

<input type="checkbox"/> 6の二

確かめプリント【中学校一年生】読むこと⑦



年 組 番 名 前

次は、【詩】とその詩についての【感想の交流の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【詩】

祖母

三好達治

祖母は蛍をかきあつめて

桃の実のように合あわせた掌ての中から

沢山な蛍をくれるのだ

祖母は月光をかきあつめて

桃の実のように合あわせた掌ての中から

沢山な月光をくれるのだ

【感想の交流の一部】

木村

この詩に出てくる祖母は、優しい感じがするね。

石川

そうだね。「沢山な」、「くれるのだ」という表現から、孫を思う優しさが伝わってくるね。木村さんは、どの表現から優やさしいと感じたのかな。

木村

「桃の実のように合あわせた掌」という比喩を用いた表現から、大事に包み込むようにしてそつと孫に渡す様子が伝わってきて、優やさしいと感じたよ。

木村さんと石川さんの交流の様子について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 二人は同じ表現に着目し、祖母の人物像についても同じ見方をしている。
- 2 二人は異なる表現に着目し、祖母の人物像についても異なる見方をしている。
- 3 二人は同じ表現に着目しているが、祖母の人物像については異なる見方をしている。
- 4 二人は異なる表現に着目しているが、祖母の人物像については同じ見方をしている。

# 確かめプリント【中学校一年生】読むこと⑧



年 組 番 名 前

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔ここまでのあらすじ〕 七歳の保吉は父親と玩具屋を訪れ、店主から幻灯の映し方（ガラス板の画を光でスクリーンに映す機械の使い方）を聞いている。

「あのぼんやりしているのはレンズのピントを合わせさえすれば——この前にあるレンズですな。——すぐにごらんとおり、はつきりなります。」

主人はもう一度および腰になった。と同時にしゃぼんだまはみるみる一枚の風景画に変わった。もつとも日本の風景画ではない。水路の両側に家々のそびえた、どこか西洋の風景画である。時刻はもう日の暮れに近いころであろう。三日月は右手の家々の空にかすかに光を放っている。その三日月も、家々も、家々の窓の薔薇の花も、ひっそりとたたえた水の上へ鮮やかに影を落としている。人影はもちろん、見わたしたところかもめ一羽浮かんでいない。水はただ突き当たりの橋の下へまっすぐにひとすじづづいていく。

「イタリヤのベニス(注1)の風景でございます。」

三十年後の保吉にヴェネチアの魅力を教えたのはダンヌンチオの小説である。けれども当時の保吉は、この家々だの水路だのにただたよりのない寂しさを感じた。彼の愛する風景は、大きい丹塗りの観音堂の前に無数の鳩の飛ぶ浅草である。あるいはまた高い時計台の下に鉄道馬車の通る銀座である。それらの風景に比べると、この家々だの水路だの、なんと寂しさに満ちているのであろう。鉄道馬車や鳩は見えずともよい。せめてはむこうの橋の上に一列の汽車でも通っていたら、——ちよūdōこう思ったとたん

イラスト

参考〈幻灯〉

である。大きいリボンをした少女が一人、右手に並んだ窓の一つから突然小さい顔を出した。どの窓かははっきり覚えていない。しかしだいたい三日月の下の窓だったことだけはたしかである。少女は顔を出したと思うと、さらにその顔をこちらへむけた。それから——遠目にも愛くるしい顔に疑う余地のないほほえみを浮かべた！<sup>①</sup>が、それは掛け価のない一、二秒の間のできごとである。思わず「おや」と目を見はった時には、少女はもういつの間にか窓の中へ姿を隠したのである。窓はどの窓も同じように人気のない窓かけを垂らしている。……

「さあ、もう映しかたはわかったらう？」

父の言葉はぼうぜんとした彼を現実の世界へ呼びもどした。父は葉巻をくわえたまま、退屈そうに後ろにたたずんでいる。玩具屋の外の往来もあいかわらず人通りを絶たないらしい。主人も——きれいに髪を分けた主人は小手調べをすませた手品師のように、妙に蒼白い頬のあたりへ満足の微笑をただよわせている。保吉は急にこの幻灯を一刻も早く彼の部屋へ持って帰りたいと思いだした。……

保吉はその晩父といっしょに蠟ろうを引いた布の上へ、もう一度ヴェネチアの風景を映した。中空の三日月、両側の家々、家々の窓の薔薇の花を映したひとすじの水路の水の光、——それは皆前に見たとおりである。が、あの愛くるしい少女だけはどうしたのか今度は顔を出さない。窓という窓はいつまで待っても、だらりと下がった窓かけの後ろに家々の秘密を封じている。保吉はとうとう待ち遠しさにたえかね、ランプの具合などを気にしていた父(注)たんがんへ歎願するように話しかけた。

「あの女の子はどうして出ないの？」

「女の子？ どこかに女の子がいるのかい？」

父は保吉の問いの意味さえ、はっきりわからない様子である。

「ううん、いはしないけれども、顔だけ窓から出したじゃないの？」

「いつさ？」

「玩具屋の壁へ映した時に。」



「あの時も女の子なんぞは出やしないさ。」

「だって顔を出したのが見えたんだもの。」

「何を言っている？」

② 父はなんと思ったか保吉の額へ手のひらをやった。それから急に保吉にもつけ景気(注5)とわかる大声を出した。

「さあ、今度は何を映そう？」

けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。窓は薄明るい水路の水に静かな窓かけを映している。しかしいつかはどこかの窓から、大きいリボンをした少女が一人、突然顔を出さぬものでもない。——彼はこう考えると、名状(注6)のできぬつかしさを感じた。同時に従来知らなかった、あるうれしい悲しさをも感じた。あの画の幻灯の中にちらりと顔を出した少女は、じつさい何か超自然の霊が彼の目に姿を現あらわしたのであるだろうか？ あるいはまた少年に起こりやすい幻覚の一種にすぎなかったのだろうか？ それはもちろん彼自身にも解決できないのにちがいない。

(芥川龍之介(注7)「少年」による。)

(注1) ベニス＝ヴェネチア。イタリア北東部に位置する都市。「水の都」の別名をもつ。

(注2) ダンヌンチオ＝イタリアの詩人、小説家、劇作家。

(注3) 丹塗り＝赤または朱色に塗ってあること。また、塗ってあるもの。

(注4) 歎願＝事情を述べて熱心に願うこと。

(注5) つけ景気＝実際はそうではないのに景気がよいように見せかけること。

(注6) 名状のできぬ＝言葉で言い表すことができない。

一 ―線部①「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」とありますが、「掛け値」はこの場合、物事を大げさに言うことを意味します。この部分についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 少女の映っていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。
- 2 少女の映っていた時間が、ずいぶんと長い間のできごとであったということ。
- 3 ヴェネチアの風景の映っていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。
- 4 ヴェネチアの風景の映っていた時間が、ずいぶんと長い間のできごとであったということ。

8の一

二 ―線部②「さあ、今度は何を映そう？」けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。」とありますが、この場面についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 父は保吉に幻灯を映すように促したが、保吉はヴェネチアの静かな風景がとても気に入ったので父の発言に答えずにいる。
- 2 父はヴェネチアの風景の映り具合を気にしたが、保吉は自分が愛する浅草や銀座の風景の映り具合を気にしている。
- 3 父は他の画を映し出すことを提案したが、保吉は少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている。
- 4 父は少女が映っている画が他にもないか探そうとしたが、保吉は少女が再び現れることはないかと諦めている。

8の二

# 海外に広がる弁当の魅力



カスクルート

アメリカのボックスランチやフランスのカスクルートなど、日本の弁当のように海外に持ち出して食べることもできる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。私たちの身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外

で話題になっているのです。弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに収まっています。そのため、栄養バランスがよい食事として、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べて、鮮やかないろどりになるように工夫された弁当を見て、「まるで宝石箱のようだ」と言う海外の方もいます。

また、様々なデザインのパッケージを好みに応じて選ぶことも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランスのデパートの食器売り場でも、おしゃれでカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。

弁当は、誰かのために作ったり、皆で持ち寄って和気あいあいと食べたりすることもあります。こうした、人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを利用して、弁当の作り方や詰め方について交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいるのです。

このように、様々な魅力をもつ弁当は、世界に誇ることができる日本の文化の一つなのです。

次回は、「漫画」を取り上げます。

## 〈シリーズ〉再発見！ 日本の文化

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当 (bento)」、「漫画 (manga)」、「俳句 (haiku)」、「盆栽 (bonsai)」、「折り紙 (origami)」は、英語やフランス語などの辞書に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介していきます。第一回は、弁当です。

### 1 2 3 4 5 「弁当」



曲げわっぱの弁当

〔全国中学生新聞〕

【全国中学生新聞】を読んで、あとの問いに答えなさい。

年 組 番 名 前

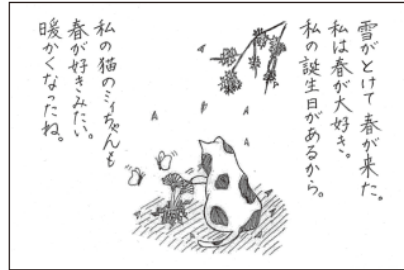
確かめプリント【中学校一年生】読むこと⑨



声の広場



(中2・野球大好き)



(中3・こねこ)

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝

中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ

中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と

中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く

中三 松田 花子

■投稿先

〒100-6543 東京都千代田区中央3  
全国中学生新聞「声の広場」係  
FAX 000-123-xxxx  
メール zenkoku@xxx.xx.xx

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」

は1通に2首まで。  
▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。  
イラストはペンネーム可。

## レベル9

一 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを、次の1から5までの中から**全て**選びなさい。

- 1 インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
- 2 主食、主菜、副菜などが取まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
- 3 ボックスランチやカスクルートなどは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
- 4 いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
- 5 様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みものを選ぶことができる。

## レベル7

二 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び（どの短歌を選んで  
もかまいません）、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、【選者より】を参考にしながら、次の条件1と条件2  
にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

←選んだ短歌の記号を塗り潰しなさい。

選んだ短歌

Ⓐ 内山さんの短歌

Ⓑ 森川さんの短歌

Ⓒ 松田さんの短歌

--	--	--	--